

January 14, 2021

【前日の為替概況】ユーロドル、イタリア政局混迷への警戒感から1.2140ドルまで下落

13日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは反落。終値は1.2157ドルと前営業日NY終値(1.2207ドル)と比べて0.0050ドル程度のユーロ安水準だった。欧州各国で新型コロナウイルス感染拡大抑制に向けたロックダウン(都市封鎖)延長や制限措置強化が相次いで実施されており、景気への悪影響が懸念された。2時30分前に一時1.2140ドルと日通し安値を付けた。また、イタリアのレンツィ元首相が党首を務める「イタリア・ビバ」出身の閣僚らが辞任したことを受けて、レンツィ氏は連立政権からの離脱を表明。伊政局不安が一段と高まりユーロ売りを誘った。

ただ、レンツィ氏が解散総選挙の可能性を否定したほか、「コンテ首相の今後の対応次第では、コンテ氏が率いる政権に再び参加する可能性」を示唆したためユーロ売りはひとまず一服した。

ドル円は小反発。終値は103.89円と前営業日NY終値(103.76円)と比べて13銭程度のドル高水準だった。対ユーロ中心にドル買いが進んだ流れに沿って、20時30分過ぎに一時104.00円と日通し高値を付けたものの、同水準に観測されている売りをこなすことが出来ず失速した。米長期金利の低下も相場の重しとなり、一時103.75円付近まで下押しした。もっとも、NY市場では値幅25銭程度の狭いレンジ取引に終始した。

なお、米10年債利回りは一時1.0713%前後まで低下した。前日の10年債入札に続き、本日実施された30年債入札も好調だったことを受けた。米連邦準備理事会(FRB)の一部高官から債券購入のテーパリング期待を鎮静化させるような発言が伝わったことも米金利低下につながった。ブレイナードFRB理事はこの日の講演で「FRBの資産購入ペースはかなりの期間、現行水準に維持される」と述べたほか、「正当化されると判断すれば、FRBは資産購入額を増やす用意がある」との見解を示した。

ユーロ円は4日続落。終値は126.30円と前営業日NY終値(126.66円)と比べて36銭程度のユーロ安水準。2時30分前に一時126.22円と日通し安値を更新した。欧州各国で新型コロナ感染が改めて拡大しており、景気への悪影響が懸念されると円買い・ユーロ売りが優勢となった。伊政局の不透明感が高まったことも相場の重し。

【本日の東京為替見通し】ドル円、バイデン次期政権の追加経済対策控えて動意薄か

本日の東京外国為替市場のドル円は、本日公表が予定されているバイデン次期米政権による追加経済対策やパウエルFRB議長の講演を控えて動意に乏しい展開が予想される。

バイデン次期米大統領は、12月の米雇用統計を受けて一段の新型コロナウイルス対策が必要なことが示されたとして、本日、数兆ドル規模の追加経済対策を発表する、と示唆していた。内容は、1人2000ドルの現金給付、失業給付の特例支給の延長、ワクチンの供給拡大を含む州・地方政府への支援、ワクチン普及対策費などが盛り込まれることが予想されている。バイデン次期米政権は、上院勢力が与野党50議席ずつの下、「財政調整措置」により、民主党はハリス次期副大統領が上院議長として決定票を投じて51対50となることで、通常必要とされる60議席以上の賛成票を確保することなく、単純過半数で追加経済対策法案を可決させることが出来る。しかし、バイデン次期米大統領は、包括的経済対策案に関して財政調整措置を活用しないで共和党との合意目指す計画、と報じられている。計画通りならば、2-3兆ドル規模と期待されている追加経済対策は、昨年末の9000億ドルの新型コロナ景気対策法案のように、段階的な支援策となる可能性が警戒されつつある。

国際的に著名な米国の政治学者イアン・ブレマー氏が代表を務める国際情勢分析機関「ユーラシア・グループ」が公表した恒例の「2021年のトップ10リスク」の1位は、「46」、すなわち、バイデン第46代米大統領だった。ブレマー氏は、民主党支持者で、反トランプ第45代米大統領の急先鋒なのだが、バイデン第46代米大統領の役割は、トランプ第45代米大統領をホワイトハウスから追い出したことで終わり、就任後はすぐに「レームダック化」する可能性を警告している。さらに、バイデン第46代米大統領の36年間の連邦議会上院議員、8年間の副大統領としての政治家気質が、共和党との協調を目指す調整型議会運営に陥る可能性も警告しており、包括的経済対策案も古き政治家気質が仇となるのかもしれない。

ドル円のオーダー状況は、上値には、104.00円に15日のNYカットオプションとドル売りオーダー、104.40円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、103.50円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◎ 11月機械受注（予想：船舶・電力除く民需 前月比▲6.2%/前年比▲15.4%）
- 08:50 ◇ 12月企業物価指数（予想：前月比0.2%/前年比▲2.2%）
- 未定 ◎ 黒田東彦日銀総裁、あいさつ（支店長会議）
- 未定 ◇ 日銀地域経済報告（さくらレポート）

<海外>

- 09:01 ◇ 12月英王立公認不動産鑑定士協会（RICS）住宅価格（予想：62）
- 未定 ◎ 12月中国貿易収支（予想：723.5億ドルの黒字、4578.0億元の黒字）
- 15:30 ◎ 12月インド卸売物価指数（WPI、予想：前年比1.30%）
- 21:30 ☆ 欧州中央銀行（ECB）理事会議事要旨（12月10日分）
- 22:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数（予想：78.0万件/500.0万人）
- 22:30 ◇ 12月米輸入物価指数（予想：前月比0.6%）
- 23:00 ◎ ローゼングレム米ボストン連銀総裁、講演
- 15日 01:00 ◎ ボスティック米アトランタ連銀総裁、講演
- 15日 01:00 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 15日 02:30 ☆ パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長、ウェブセミナーに参加
- 15日 03:00 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

13日 07:57 リズ・チェイニー共和党下院議員
※チェイニー元副大統領の娘
「トランプ大統領の弾劾決議案に賛成」

13日 10:20 ペンス米副大統領
「(副大統領と閣僚が大統領を罷免する手続きを定めた)憲法修正 25 条の発動が米国にとって最大の利益となるとは思わない」

13日 17:55 ビルロワドガロー仏中銀総裁
「我々はユーロの為替レートに対する悪影響を注視している」
「必要な限り金融緩和を継続するだろう」

13日 18:18 ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁
「不確実性の一部は晴れた」
「財政および金融政策のサポートが引き続き必要」
「為替水準を注視しているが、ターゲットはない」
「為替が物価に与える影響に極めて注意を払っている」
「早すぎるサポート解除というミスを避けるべき」

13日 18:31 菅首相
「大阪・愛知など7府県を緊急事態宣言区域に追加」

13日 23:45 ブラード米セントルイス連銀総裁
「ワシントンで起きた事件を受けてもドルの地位は揺るがず」
「米国債は依然として安全な資産、ドルは準備通貨である」
「テーパリングの時期を決めたくない」
「バランスシートの方針決定時期を決めないでください」

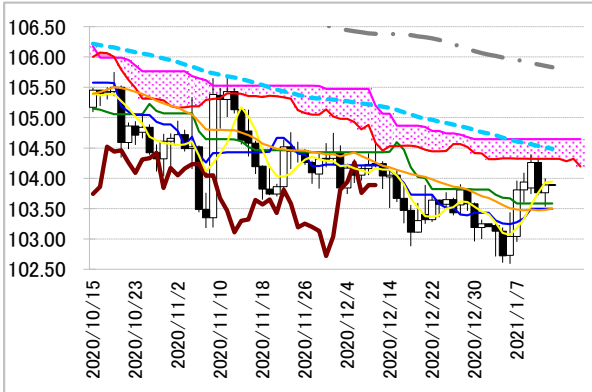
14日 03:22 ブレイナード米連邦準備理事会(FRB)理事
「利上げのタイミングは最大雇用と2%インフレ目標に向けた進捗状況に依存」
「短期的な経済見通しは困難な状況だが、追加財政支援を歓迎する」
「現在の資産購入ペースは相当の期間、適切であると予想」
「必要なら債券購入ペースを引き上げる用意ある」

14日 07:08 マコネル米共和党・上院院内総務
「次期大統領就任前に公正かつ真摯なトランプ氏の弾劾裁判が終わる可能性はない」

シューマー米民主党・上院院内総務
「マコネル氏とは上院緊急会期について合意はなく、トランプ氏の弾劾裁判は19日以降に開始されるだろう」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

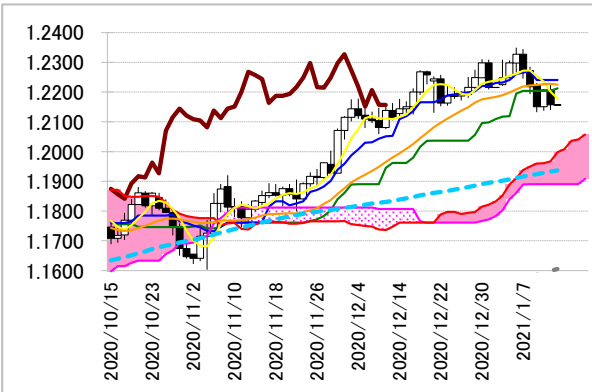


<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。4手連続陽線で雲を上抜けることが出来ず、抱き線で反落したものの、孕み線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	104.32(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	103.89
サポート1	103.50(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	102.59(1/6安値)

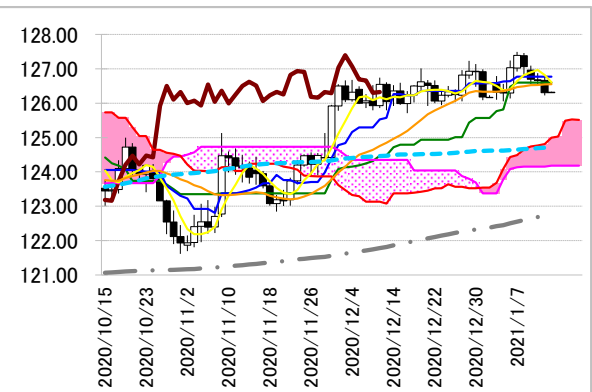


<ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。3手連続陰線で反落後、孕み線で反発したものの、転換線を上回ることが出来ずに引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.2241(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.2157
サポート1	1.2059(2020/12/9安値)

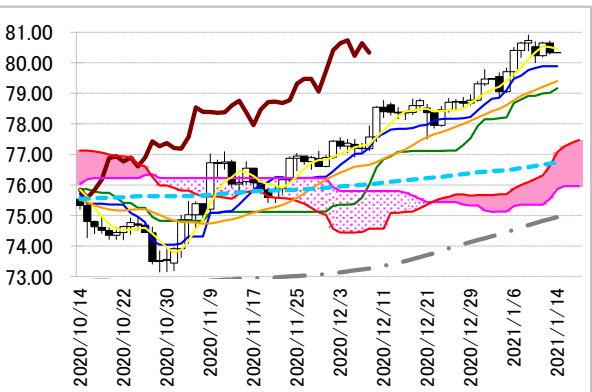


<ユーロ円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、4手連続陰線がかつ転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	126.77(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	126.30
サポート1	125.00(日足一目均衡表・雲の上限)



<豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。高値圏での孕み線で反落したものの、転換線を上回って引けていることで、反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	80.93(1/8高値)
前日終値	80.33
サポート1	79.89(日足一目均衡表・転換線)

